

高校3年

志望別クラス編成・塾生に合わせた最適なカリキュラムが特徴

西荻塾の高3クラスは、志望校・志望タイプ別に授業を編成します。

①4月～7月、②夏期講習、③9月～12月、④冬期・直前期と4つの期間に分けて柔軟にクラスを選択することができ、また、塾も当該年度の塾生に最適なカリキュラムを柔軟に編成して対応しています。

また、自習室の休日利用システムも設けています（裏面参照）。

開講講座のご紹介

英語

①通常コース（レベル別）

90分授業・週1回または2回

*9月以降は、私立文系志望者は週2回が原則

*授業回数は塾生のレベル、到達度に合わせて柔軟に編成。

②国立最難関コース（①との併用可、単独受講可）

90分授業・週1回

*東大、一橋、旧帝等

*夏期講習以降は、大学別授業に組み替えます。

③リスニング対策（センター～最難関まで対応）

*9月以降開講

数学

①通常理系コース（レベル別）

90分授業（週1回）

*数IIIを範囲とする受験生

*志望レベル別クラス編成

②国立最難関理系コース

90分授業（週1回）

*東大、京都大、東工大、旧帝等対象

③IAIIB 数学コース（レベル別）

90分授業・週1回または週2回

*IAIIBを範囲とする受験生（文系数学）

*薬学、獣医師系でIAIIB範囲の受験生

*授業回数は塾生のレベル、到達度、系統別に合わせて柔軟に編成。

*薬学・獣医系は、専門特化します。

*理系志望者で、IAIIBを補強したい場合も選択可

④国立最難関文系コース

90分授業・週1回

*東大、一橋、旧帝等対象

国語

①記述式現代文（国立系統）

90分授業・週1回または隔週

*授業回数は熟成のレベルに合わせて柔軟に対応

*記述式の国語が必要な受験生

*9月以降は大学別クラス

*東大、一橋、京都大等特化クラスあり

②通常現代文コース（私立系統）

90分授業・週1回または隔週

*授業回数は熟成のレベルに合わせて柔軟に対応

*私立大文系、センター等対象

③記述式古典（国立系統）

90分授業・週1回または隔週

*授業回数は熟成のレベルに合わせて柔軟に対応

*記述式の国語が必要な受験生

*9月以降は大学別クラス

*東大、一橋、京都大等特化クラスあり

④通常古典コース（私立系統）

90分授業・週1回または隔週

*授業回数は熟成のレベルに合わせて柔軟に対応

*私立大文系、センター等対象

*漢文の要不要に応じて時間割選択

⑤小論文講座

*9月開講

*全系統の小論文に志望校別に対応

理科・社会

①物理、化学、生物

*3月開講～

*各科90分週1回で開講

*レベル別、志望別クラス編成

②論述系社会

*日本史、世界史開講

*各90分週1回

*東大、一橋に完全対応・添削あり

*4月開講～

6～7月は論述基礎講座

9月以降志望校別対策講座開講

●西荻塾高3クラス 講座の選び方

*まずは、志望校・志望系統（国立、私立、獣医、薬学系）を決めて下さい。

*その後、模試の成績（または塾内到達度確認試験（無料）を受験し、その成績）によってクラスを決定します。

*受験生との綿密な打ち合わせによって決定します。

●全科目、全講座とも、担当講師による綿密な添削指導を実施します。

◆◆◆ 西荻塾の特徴

添削とソクラテスメソッド

授業では、一方通行の講義形式はとらず、受験生と密のコミュニケーションを図りながら、受験生が自分の現在の力と向き合う環境を整えています。授業の全てにおいて、受験生達の答案に講師が目を通し、添削を行います。



試験会場でのコミュニケーション手段は、答案用紙と受験生が握った筆記具のみ。添削結果をそのまま授業に活かすことで、受験生が自らの努力の結果と持てる実力を余すところなく答案にぶつけられるための指導を行います。そのため、クラス授業の定員は7名とさせていただきます。

切磋琢磨して伸びる

西荻塾では、受講生どうし在籍校は異なれど、お互いに刺激し合いながら、ともに目標に向けて突き進んでいく雰囲気があります。クラスの仲間どうし、短期・長期の目標を定めあい、そしてそれをお互いに検証しながら、勉学に励む様子をしばしば目にします。何もそれを必須としているわけではないのですが、ともに戦っていく仲間の存在は努力を継続する何よりももの助けとなります。西荻塾では、そのような雰囲気作りに努めています。



授業だけではない手厚さ

授業・授業外の両輪指導

西荻塾では、授業外指導に力を入れています。大学受験で合格をつかめるか否かは、授業のみならず、自ら主体的に努力をすること、すなわち、授業と平行して自学自習を的確に行えるかにかかっています。学年を問わず、塾生たちと密のコミュニケーションを取りながら、フルサポートで塾生たちの学習を支援します。



塾生全員が持てる力を最大限に発揮するために

西荻塾では、受験期(目安:高3生・卒生の7月以降)になりますと、クラス授業のみならず、授業外の時間帯において、それぞれ一人一人の塾生の志望に合わせて、各人別の指導をさらに強化していきます。自習のやり方、科目別のエネルギーの配分、長期休暇の過ごし方、日々の時間の使い方や進路の相談、直前期何を優先すべきか…もろもろと、受験生の悩みに正面切ってぶつかっていく体制です。単なる「授業屋さん」ではない、君たちと一緒に戦っていく当塾専任講師たちが、対話を繰り返し、塾生たちとがっちりとした信頼関係を築き上げていきます。講師と塾生がともに笑い、ともに苦しみ、ともに泣く。古いと言われても、西荻塾はこのスタイルを貫き通します。そのため、スタッフが最大限、塾生に熱意を捧げ、時間を確保できるよう、学年ごと全体25名と定員を設けています。

*現在の定員充足状況についてはお問い合わせ下さい。

【常設自習室】

主に高校生が利用する校舎には、常設の自習スペースがあり、自由に利用することができます。

自習コーナーには、空気清浄機、冷蔵庫、荷物棚等を完備。快適な自習空間を授業日にかかわらず利用することができます(座席は先着順となります)。その他、空き教室等を自習し利用することができます。

★高3生は、休日等にも所定の手続きを経た上で自習室の使用を認めています。詳しくは塾までお問い合わせください。

◆◆◆ 受講システム

■ クラス授業 / 1ヶ月の月謝 (税込表示)

対象学年	受講講座数	授業時間/週	受講料
高3/卒	1講座	90分×1	17,280円
	2講座	90分×2	33,480円
	以降1講座ごと	90分ずつ追加	13,500円

● そのほかにかかる費用

- ・入塾金 32,400円
*ご紹介の場合は、10,800円となります。
- ・教材費(年間)高3生 10,800円 / 1科目
*教材費は、テキスト代に充当します。
*科目、とは、英語、数学、理科、国語、社会の区別をいい、その細分については、科目とはいたしません。
(英文法と英文解釈を受講しても、英語1科目とします)
- ・指導充実費(施設維持費等含む前期・後期の2分割でご請求いたします。)
前期(4月～8月末) 1ヶ月あたり 6,480円
後期(9月～2月末) 1ヶ月あたり 5,400円
*3月分は不要です。
- ・コピー代、自習室維持費、教室運営費等のほか、授業外の時間帯を利用した自習指導、随時の進路相談等が含まれています。
- *教材費及び指導充実費は、分割でのお支払いも可能です。また、期間途中でのご入会の場合は、月割りで計算いたします。

※春期、夏期、冬期の季節講習会は費用が異なります(講習会費用は、通常クラス授業の水準で、それ以外の費用はかかりません)。

- 複数科目受講者は受講料を割り引きます(上記表参照)。
- 兄弟姉妹割引あり。詳しくは別紙を参照下さい。
- 夏期はセミナーハウスで合宿を行います。

■ 個別指導 (授業4回あたり)

対象学年	授業時間(分)	授業回数	受講料
高1～3	完全個別90分	4回あたり	32,400円
	クラス併用割引 ※上記より4,320円引		
高卒	完全個別60分	4回あたり	21,708円
	クラス併用割引 ※上記より2,890円引		

- 完全個別とは、授業時間すべて1対1(マンツーマン)による授業です。講師が他の生徒を担当しながらという形式ではありません。
- 受講料は、1ヶ月あたりの受講回数によって決定します。上記金額は、1ヶ月に90分授業を4回授業を実施した場合の金額であり、実際には、実施回数によって均等割で計算します。
- 隔週で受講したい、試験前に集中して受講したい、等の個別的なニーズにも幅広く対応しています。
- クラス授業に準じて、入塾金、教材費、指導充実費がかかります。
- 春期、夏期、冬期の季節講習会期間中も、日程、授業回数等は柔軟に対応します。
- 個別授業受講者には、時期等により、受験に備えるため、途中からクラス授業への移行をおすすめすることがあります。

■ 入塾方法

クラス授業、個別授業ともに、まず、無料の体験授業を受講して下さい。体験授業を通じて、担当講師から現在の状況、今後の見通し等詳細なご説明を事後に差し上げます。塾の方針等に納得していただいた場合にのみ、ご入塾の手続きとなり、ご入塾いただけなかった場合に、塾から再び勧誘等を行うことはありませんので、お気軽に体験授業を受講して下さい。

*体験授業の日程等は改めてご相談の上決定いたします。

西荻塾 (にしおぎじゅく)

TEL: 03-3334-5415

杉並区西荻南 3-9-11 フロンティア EX3 階
(JR 西荻窪駅南口徒歩1分)

<http://www.nishiogi-juku.jp/>

E-mail: office@nishiogi-juku.jp

どこまでも正攻法 

西荻塾

高校受験
大学受験